

会員並びにご家族様

# パナソニック創業の地を訪ねる

～再開後2回目も楽しく歩きましょう～

ゴールデンウィークは、蔓延防止等重点措置などの行動制限がなくても乗り切ることが出来ましたが、皆様方におかれましてはお変わりございませんでしょうか。

さて、今回の「歴史と街道を巡る」の史跡コース・パート12は「松下電器創業の地」である大開町や織田信長ゆかりの地の福島区内を反時計回りで散策致します。

今回は再開後2回目の開催であり、今後に繋がる大事な時でもあると思いますので、是非とも、ご家族・ご友人の皆様もお誘い合わせの上マスク着用でご参加ください。



記

1. 日時：2022年6月16日(木) 10時00分集合(雨天決行)

(集合してから暫くトイレがありませんので京阪電車にご乗車時は、後ろ側の車両にご乗車いただき、中之島駅の改札出る前に改札出口奥のトイレをご利用ください)

2. 集合場所：京阪 中之島駅 改札口

3. 史跡散策コース

(出発)⇒明治天皇聖躑碑/大阪紙砂糖製造所址・高松藩蔵屋敷跡⇒福澤諭吉生誕の地⇒浄正橋跡の碑⇒逆櫓の松址⇒福島天満宮⇒(大和田街道)説明盤⇒浦江聖天(集合写真)⇒石畳路地・海老江公園(昼食)⇒松下幸之助創業地の記念碑(集合写真)⇒摂津野田城跡の碑⇒恵美須神社⇒証如上人旧蹟・村人廿一人討死碑⇒春日神社⇒東洋製罐工場記憶⇒中の天神祠⇒堂島大橋⇒近代製紙業発祥の地(解散)

4. 歩行距離：約 4.8 Km

5. 参加費用：300円(当日集合場所にて徴収致します)



## コロナ感染対策の厳守事項

- ①当日の朝必ず検温して頂き、37.5度以上の方は参加を控えて下さい。
- ②当日は、マスクを着用されない方は参加出来ません。
- ③アルコール消毒液を持参致しますので都度、手の消毒を行って下さい。
- ④昼食中や歩行中は、私語を慎んで下さい。

## 注意事項

- ①事前申し込み不要、当日、直接集合場所へお越し下さい。
- ②昼食は、各自持参又は出発までに購入して下さい。
- ③熱中症対策として、早めの水分補給を心掛けて下さい。
- ④雨天決行。雨具(傘・合羽・ポンチョ)等をご持参下さい。

次回予定は 令和 4年 9月22日(木)

【ウォーキングコース・パート3】です。



(解説)宮永克彦( ) (担当)植井豊( )大貫敬郎( )  
井上隆至( )中村由男( )  
佐藤正二郎( )



## 史跡コース・パート12 パナソニック創業の地を訪ねる

京阪電車中之島駅(集合)⇒ 明治天皇聖蹟碑・大阪紙砂糖製造所址碑⇒ 福澤諭吉生誕の地碑⇒ 浄正橋跡碑⇒ 逆櫓の松址碑⇒ 福島天満宮⇒ 大和田街道説明盤⇒ 浦江聖天(集合写真)⇒ 石畳路地⇒ 海老江公園(昼食)⇒ 松下幸之助創業の地記念碑(集合写真)⇒ 摂津野田城跡碑⇒ 恵美須神社⇒ 証如上人旧蹟・村人廿一人討死碑⇒ 春日神社⇒ 東洋製罐工場記憶⇒ 中の天神祠⇒ 堂島大橋⇒ 近代製紙業発祥の地碑(解散)



浦江聖天にて



初参加 村上様

北口支部長挨拶

案内役 宮永様



松下幸之助創業の地記念碑前にて



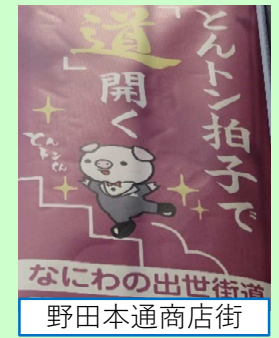
紫陽花の花手水



福島聖天通商店街



野田新橋筋商店街



野田本通商店街



ゴール お疲れ様でした!



松下幸之助創業の地 大開町、織田信長と本願寺の石山合戦、端緒となる戦いの地 野田城、足利義詮も愛でた春日神社の野田藤 大阪ギャグの商店街等歴史に彩られた福島区を巡り楽しいひとときを過ごしました。



## 歴史と街道を巡る

第164回「歴史と街道を巡る」は、11月18日(木) マスク着用や手の消毒などの感染対策を遵守し、史跡コース・パート11と題し、秋晴れの下40名の参加者でスタートしました。



【宮永さんの解説(墨染寺にて)】 て、石造アーチ橋を渡り、西岸寺を後に名神高速道路の高架下沿いを歩き深草瓦町公園にて昼食を摂りました。

昼食後は蓮如上人が当地を訪れた際に休憩した善福寺に立ち寄

最初に少将と小野小町の塚と墨染井がある欣浄寺を巡り、桜の隠れた名所である墨染寺を経て、五月五日に行われる駈馬神事で有名な藤森神社にて集合写真を撮り境内にある京都歩兵聯隊跡の碑を見



【真宗院 もみじの参道】



【宝塔寺 多宝塔】

り、持明院統派の12人の天皇が葬られている十二帝陵を訪ね、通称深草聖天で知られている嘉祥寺から日頃は門が閉まっていたが今回初めて境内に入れた真宗院へ、更に元政上人が竹を好んだ事から竹葉庵と言われる瑞光寺まで足を延ばし、次の宝塔寺では国の重要文化財である本堂・多宝塔・四脚門とともに7割色づいた紅葉を楽しんだ後集合写真を撮り、その後京都の名水の一つである「茶碗子の水」や「ぬりこべ地蔵」を散策し、深草のおいしい空気を存分に味わいながら、散会としました。



【勝運・学問と馬の神社 藤森神社にて】